

日本人の2人に1人はがんになる可能性があります。早期発見・早期治療による5年後の生存率は90%以上です。早期発見のためには、定期的ながん検診の受診が大切です。また、検診結果が「要精密検査」であった場合は、必ず精密検査を受診しましょう。

がん検診には、がんで死亡するリスクを減らすことができることや、身体に負担の少ない治療で済ませることができることなどのメリットがありますが、がんが必ず見つかるわけではない（偽陰性）ことや、がんではないのに「がんの疑いがある」と判定されてしまう（偽陽性）などのデメリットもあります。

しかし、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診は、推奨される条件を守って受診することで、メリットがデメリットを上回ることが科学的に証明されています。



がん検診について、もっと知りたい方はこちら!

「2人に1人はがんになる!？」

受けよう!がん検診 デジタルブック版 →



退職後もがん検診を継続しましょう
今、健康な方こそがん検診!

これからは、
お住まいの区市町村で
がん検診を受けましょう!



東京都 がん検診啓発キャラクター
モシカモくん

がん検診は、健康な方が対象です。
早期のうちほとんど自覚症状がありません。
だから今、健康な方こそ定期的ながん検診を受けましょう!



症状のある方は検診を待たず
医療機関を受診してください。



東京都保健医療局

セカンドライフも健康に

がん検診は、お住まいの 区市町村で受けられます

お住まいの地域によって、検診の実施時期や申込方法等が異なります。

↓各区市町村のがん検診関連情報のページは、こちらからアクセスできます。

東京都のがん検診ポータルサイト「受けよう!がん検診」

区市町村のがん検診担当部署

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/contact/>



詳細は各区市町村にお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。検診費用の一部または全額を区市町村が負担しているため、少ない負担で受けることができます。

※自己負担額は、区市町村や検診内容によって異なります。

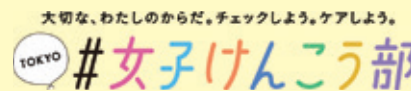
東京都の健康関連ポータルサイト
「とうきょう健康ステーション」



<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/>



女性の健康を支援するポータルサイト
「TOKYO#女子けんこう部」



大切な、わたしのからだ。チェックしよう。ケアしよう。

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/joshi-kenkou/>



国が推奨する5つのがん検診

| 種類 | 検査内容 | 対象年齢 | 受診間隔 |
|---------|--|---------------|--------|
| 胃がん検診 | ・問診 ・胃部エックス線検査または 胃内視鏡検査 | 50歳以上* | 2年に1回* |
| 肺がん検診 | ・質問（問診） ・胸部エックス線検査 ・喀痰細胞診（50歳以上で喫煙指数600以上の方） | 40歳以上 | 1年に1回 |
| 大腸がん検診 | ・問診 ・便潜血検査 | 40歳以上 | 1年に1回 |
| 乳がん検診 | ・質問（問診） ・乳房エックス線検査（マンモグラフィ） | 40歳以上 （女性） | 2年に1回 |
| 子宮頸がん検診 | ・問診 ・視診 ・細胞診 ・内診 | 20歳以上 （女性） | 2年に1回 |

※胃部エックス線検査については、当分の間、40歳以上1年に1回受診しても差し支えないとしています。

※厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」では、69歳まで受診を特に推奨すると示されています。70歳以上の方は、体力や体調、検診の利益と不利益を考え併せて受診を決めましょう。

詳しくはこちら

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/kenshin/riekifurieki.html>

